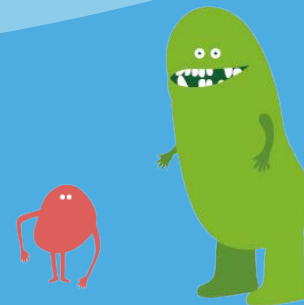
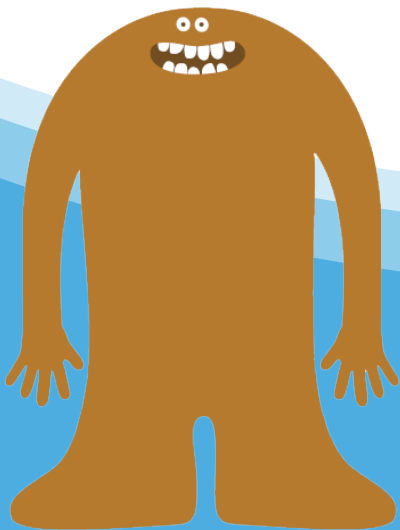


中長期的な成長に向けて

ナブテスコ株式会社
代表取締役社長 小谷 和朗



1. 2015年12月期業績見通し

2. 成長戦略の実行について

3. 環境変化への対応と成長の加速



1-1 2015/12月期：通期業績見通し（決算期変更）

■ 2015/12月期 通期計画を下方修正したものの、一株当たり配当額は44円で維持

(単位：百万円)	2015/12 第2四半期 累計実績 当社および国内連結子会社6カ月 海外連結子会社9カ月	2015/12 通期 短信ベース計画 2015年5月策定 (A)	2015/12 通期 短信ベース計画 2015年10月策定 (B)	期首計画と修正 後計画との差異 (B-A)
売上高	128,717	200,000	191,000	-9,000
営業利益	10,392	17,900	16,200	-1,700
(営業利益率)	8.1%	9.0%	8.5%	-
営業外損益	705	-	-	-
経常利益	11,097	19,700	17,100	-2,600
特別損益	1,369	-	-	-
税金等調整前 当期純利益	12,466	-	-	-
当期純利益 *	7,947	13,400	11,400	-2,000
一株当たり純利益	63.63円	105.88円	91.59円	-
一株当たり配当額	22円	44円	44円	-

*当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

■ 為替レート 2015年12月期 第2四半期実績 : US\$1=¥120.89 RMB1=¥19.50 EUR1=¥134.42 CHF1=¥127.34
 2015年12月期 通期計画(短信ベース) : US\$1=¥115.00 RMB1=¥18.50 EUR1=¥124.00 CHF1=¥118.00

■ 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)

2015年12月期 第2四半期実績 : 米国ドル 48百万円、人民元 -43百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微
 2015年12月期 通期計画(短信ベース) : 米国ドル 85百万円、人民元 -72百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

1-2 2015/12月期：セグメント別通期見通し

- 下方修正の主因は、油圧機器（中国建機需要減少）、鉄道車両用機器（中国案件の延期影響）
- 精密減速機、航空機器、自動ドアは順調に進捗

(単位：百万円)

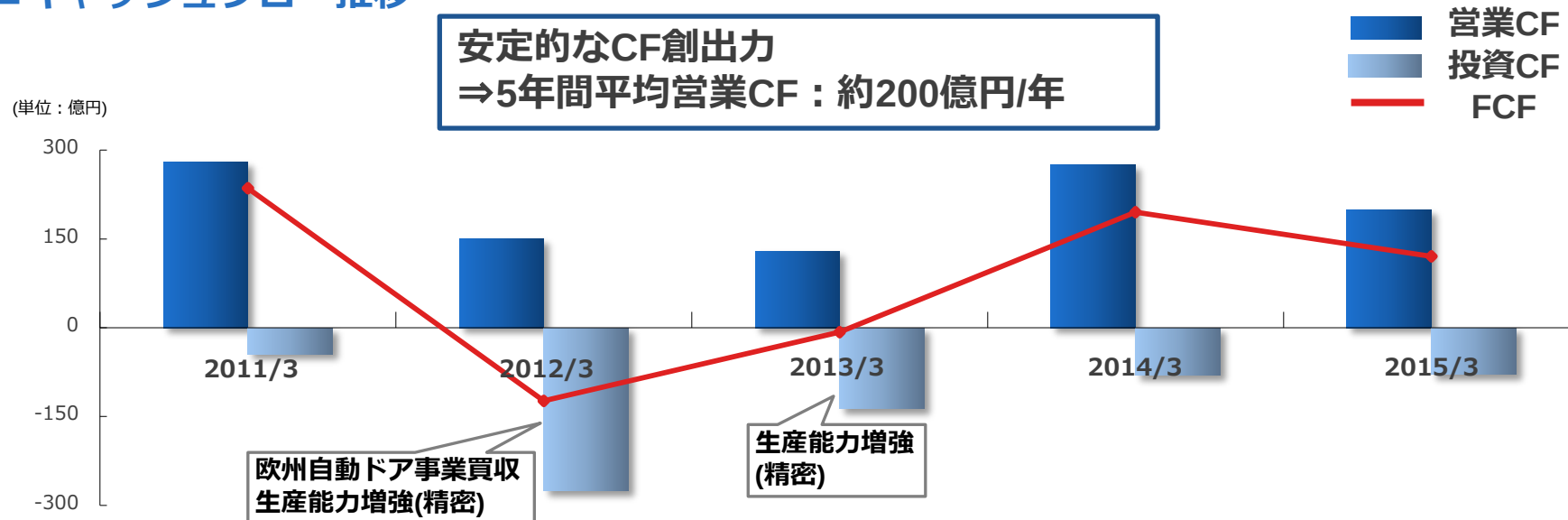
セグメント	項目	2015/12 通期 短信ベース計画 2015年5月策定(A)	2015/12 通期 短信ベース計画 2015年10月策定(B)	期首計画と修正後計画 との差異 (B-A)
精密機器	売上高	46,300	46,600	300
	営業利益 (営業利益率)	6,500 (14.0%)	7,100 (15.2%)	600
輸送用機器	売上高	51,700	48,300	-3,400
	営業利益 (営業利益率)	9,200 (17.8%)	8,600 (17.8%)	-600
航空・油圧機器	売上高	45,700	40,100	-5,600
	営業利益 (営業利益率)	0 (0.0%)	-2,300 (-5.7%)	-2,300
産業用機器	売上高	56,300	56,000	-300
	営業利益 (営業利益率)	2,200 (3.9%)	2,800 (5.0%)	600

2-1 Financial Strategy

■ 安定的なCF創出力・強固なB/Sを維持し、成長投資と株主還元を両立する

企業価値・株主価値向上の原資

■ キャッシュフロー推移



■ デット調達余力

<15/9末B/S>

- 手元流動性：約380億円
- 自己資本：約1,400億円
- 自己資本比率：59.8%

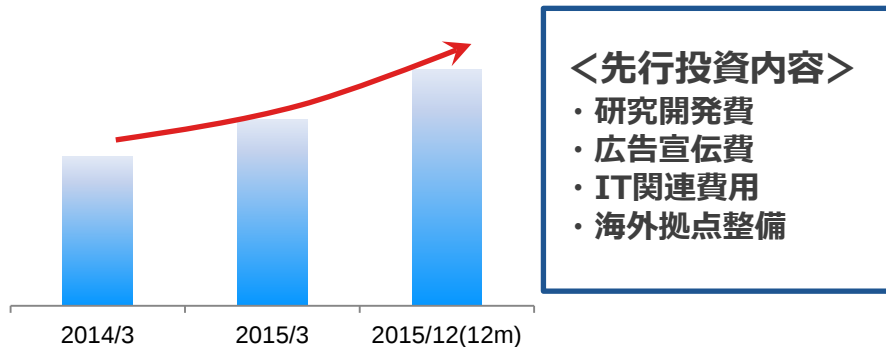
⇒信用格付A格維持を前提に**45%程度**まで引下げ余地
(**800億円**のデット調達余力)

- ・ **エクイティファイナンスは原則実施せず**

2-1 Financial Strategy

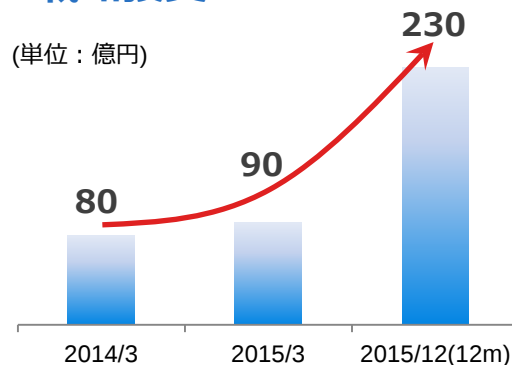
積極的な成長投資

■ 販管費



■ 戦略投資

(単位：億円)



＜設備投資＞

- ・ 生産能力増強(精密・航空)
- ・ 生産性・環境効率向上
(工場の近代化投資)

＜M&A等＞

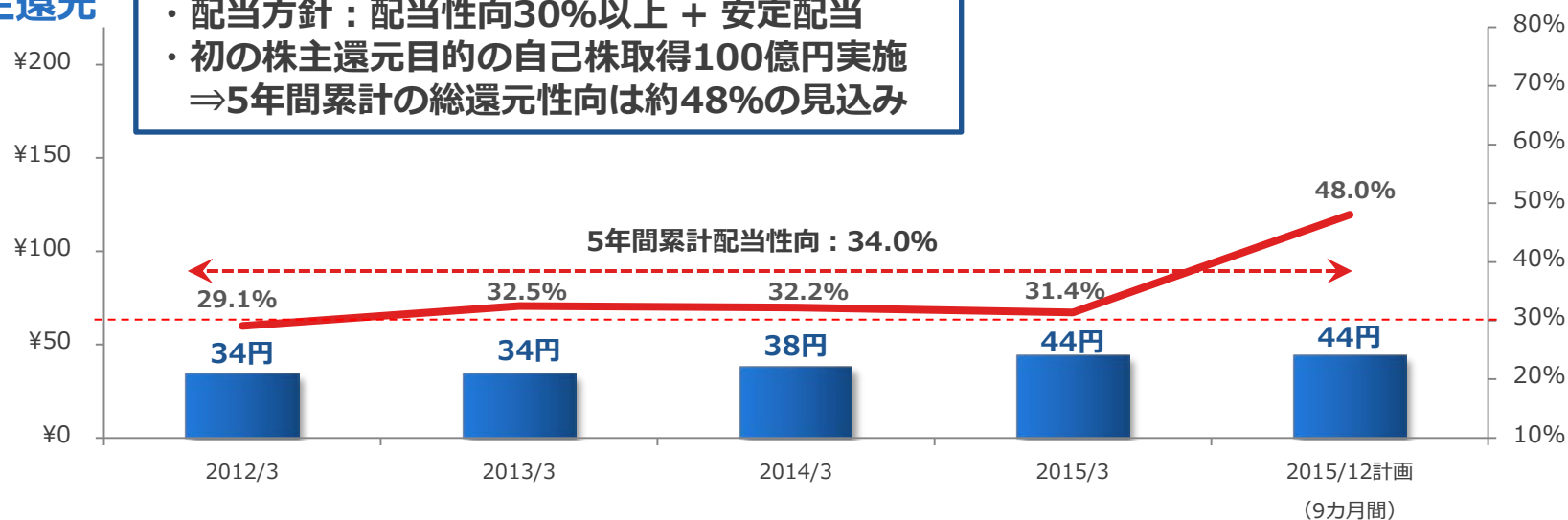
- ・ 鉄道欧州拠点
- ・ 油圧機器子会社
- ・ 自動ドア販社

持続的・安定的な株主還元

■ 株主還元

- ・ 配当方針：配当性向30%以上 + 安定配当
- ・ 初の株主還元目的の自己株取得100億円実施
⇒5年間累計の総還元性向は約48%の見込み

■ 1株当りの配当金 ■ 配当性向



2-2 Technology Innovation & Market Creation

Technology Innovation

■新事業創出に向けたオープンイノベーション

- ナブテスコ デジタル・エンジニアリングセンターを京都リサーチパーク内に移設
- 海外研究機関との共同研究
 - デンマーク工科大学、ワシントン大学、スイス連邦工科大学チューリヒ校

■工場の近代化：環境効率と生産性向上を両立

- CO2削減40%以上（精密減速機中国新工場）
- 生産性倍増・CO2半減（航空機器）
- 先進設備導入による省エネルギー化、省人化、自動化、リードタイム短縮（主要工場）

（2020年度）
CO2削減 グループ長期目標
売上高原単位20%削減
（2012年度基準）

Market Creation

■海外展開の加速

- 欧州販売拠点の強化(コーポレート全体で活用促進)
- インド駐在員事務所開設

■M&Aの実施

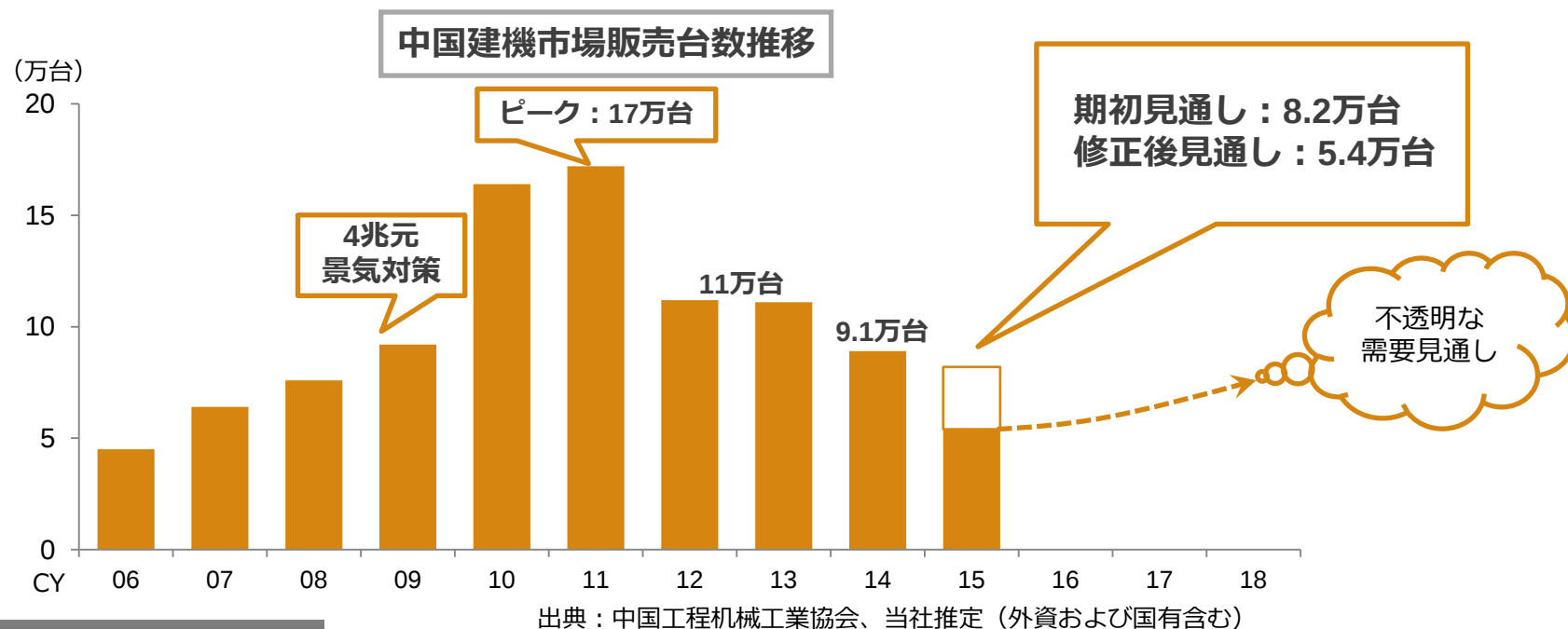
- 欧州販売・生産拠点の獲得（鉄道車両用機器）
- 北米販売代理店網の拡大（自動ドア）
- 製品ラインアップ拡充（油圧機器）

3-1 環境変化への対応：油圧機器事業

中国建機市場低迷への対応

■ 期初に想定した中国建機需要8万台レベルで、来期利益を出すための対応策は、計画通りに完遂

- 中国2工場を1工場に再編
- 中国生産能力の30%削減（他事業での活用）



市場停滞下での再成長

■ 再成長の要件：製品ラインアップ拡充

■ ハイエストコーポレーション買収

- コンポーネント単体での販売 ⇒ 油圧システムの提案強化
- コストシナジーの早期発現（2016年3月末までに統合作業完了予定）

3-2-1 成長の加速：鉄道車両用機器事業

地域別需要見通しと取組み

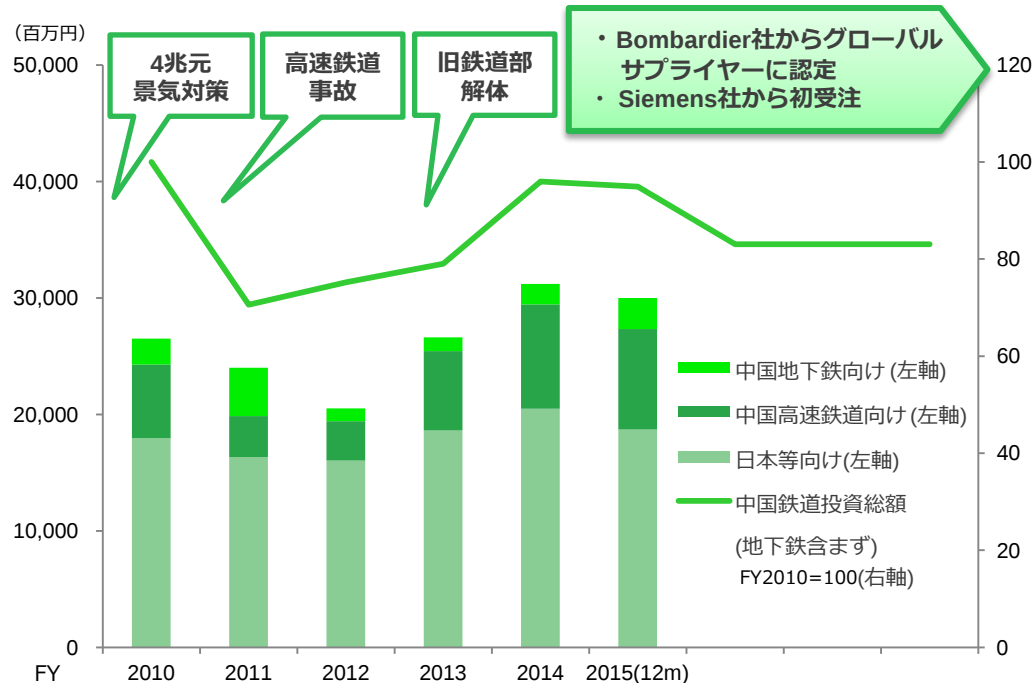
見通し

- 日本：安定的に推移
- 中国：鉄道需要は緩やかに伸長
- 欧州：着実に伸長

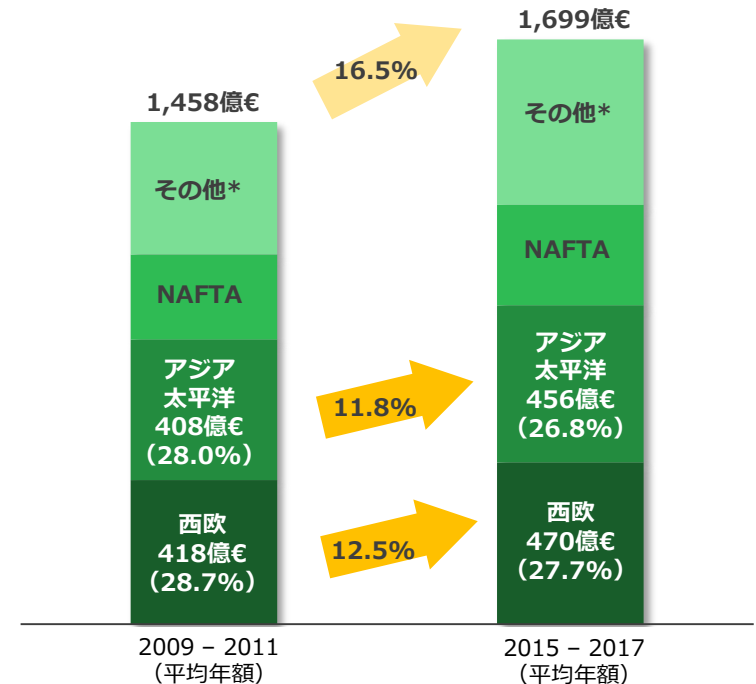
取組み

- ・ 中国高速鉄道向け：市場シェア4割の維持
- ・ 中国地下鉄向け：市場シェアの向上
- ・ 欧州3大車両メーカーとの取引拡大：世界成長の取り込み
⇒ 買収した欧州拠点を通じて深耕
- ・ 国内外市場におけるMRO*の更なる推進

地域別売上高および中国鉄道投資総額推移



鉄道産業の市場規模 (地域別)



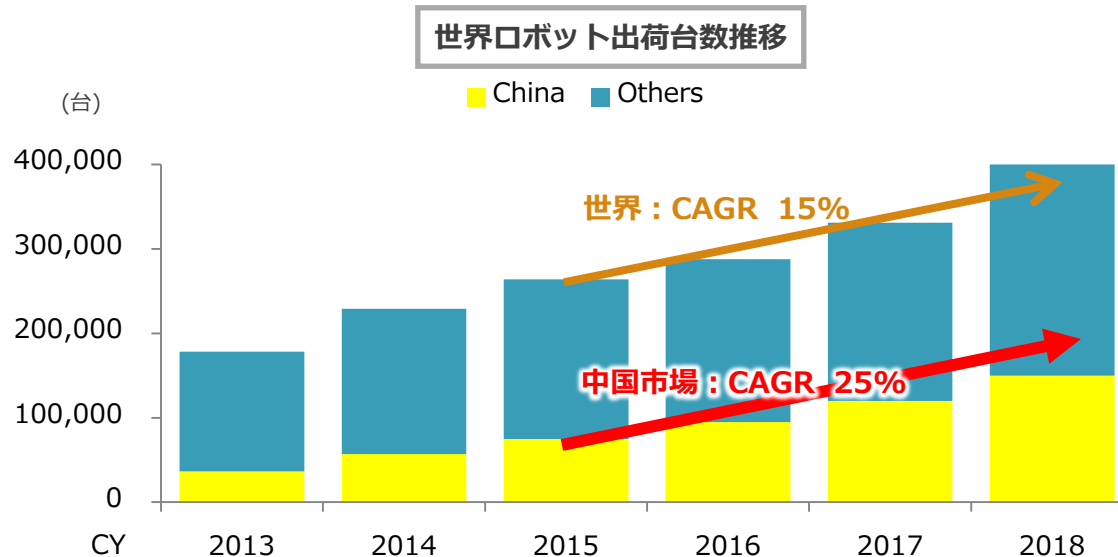
*MRO: maintenance, repair, overhaul
出典：中国国家鉄道局

*その他：東欧・CIS・アフリカ・中東、NAFTA以外の中南米
出典：UNIFE/欧州鉄道産業連盟

3-2-2 成長の加速：精密減速機事業

世界ロボット市場見通し

■精密減速機事業：中大型ロボット市場では年率10%の中期成長を予測



注：上記のIFRによるデータ(2015年9月時点)は小型・中大型ロボット数を含む

出典：International Federation of Robotics (IFR)

生産能力増強への取組み

■中期的な需要増に先駆け安定供給体制を構築

●中国新工場の設立

予定通り進捗、2016年1月より稼働開始予定

2016年12月には年産10万個、最終生産能力は年産20万個

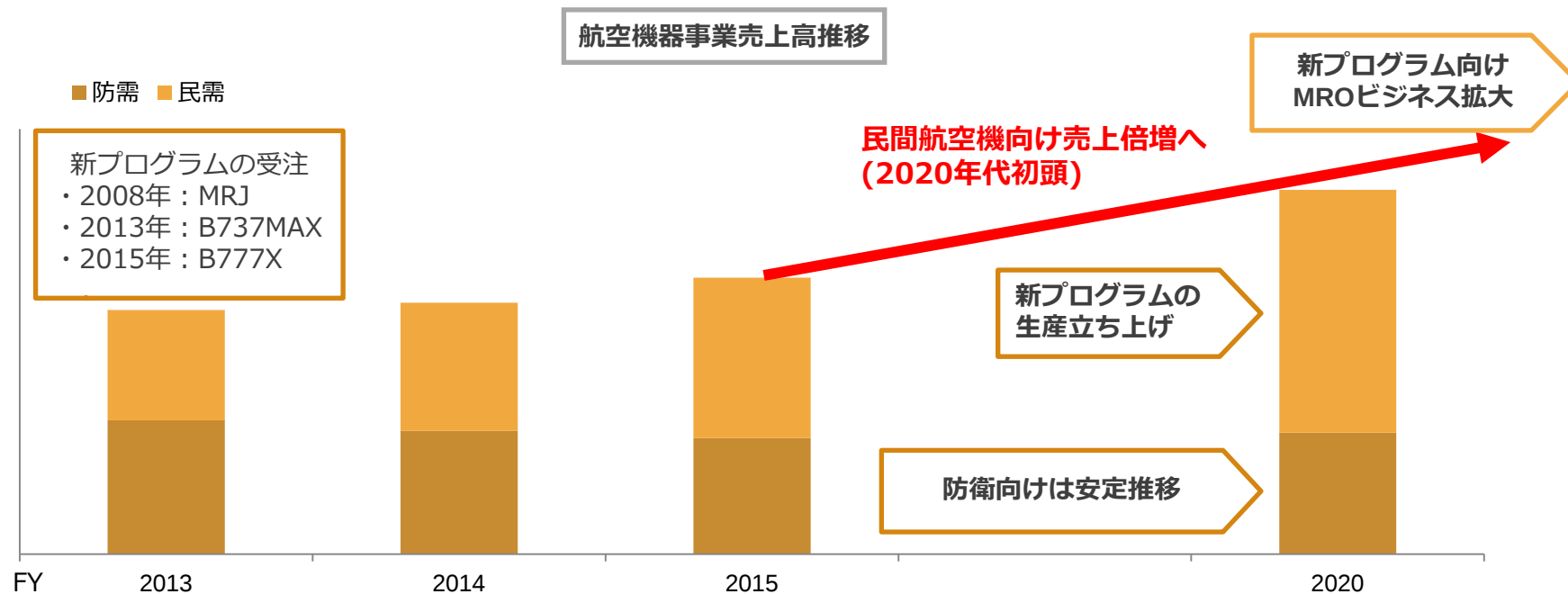
●津工場の能力増強

年産60万個⇒66万個の増強を予定通り完遂(2015年12月末)

3-2-3 成長の加速：航空機器事業

中長期的な民間航空機需要拡大の見通し

- 航空機市場：今後20年間で2倍の航空機運用
- 2017年以降、民間航空機向け新プログラムが本格貢献
⇒ 2020年代初頭には民間向け売上倍増



生産能力増強への取組み

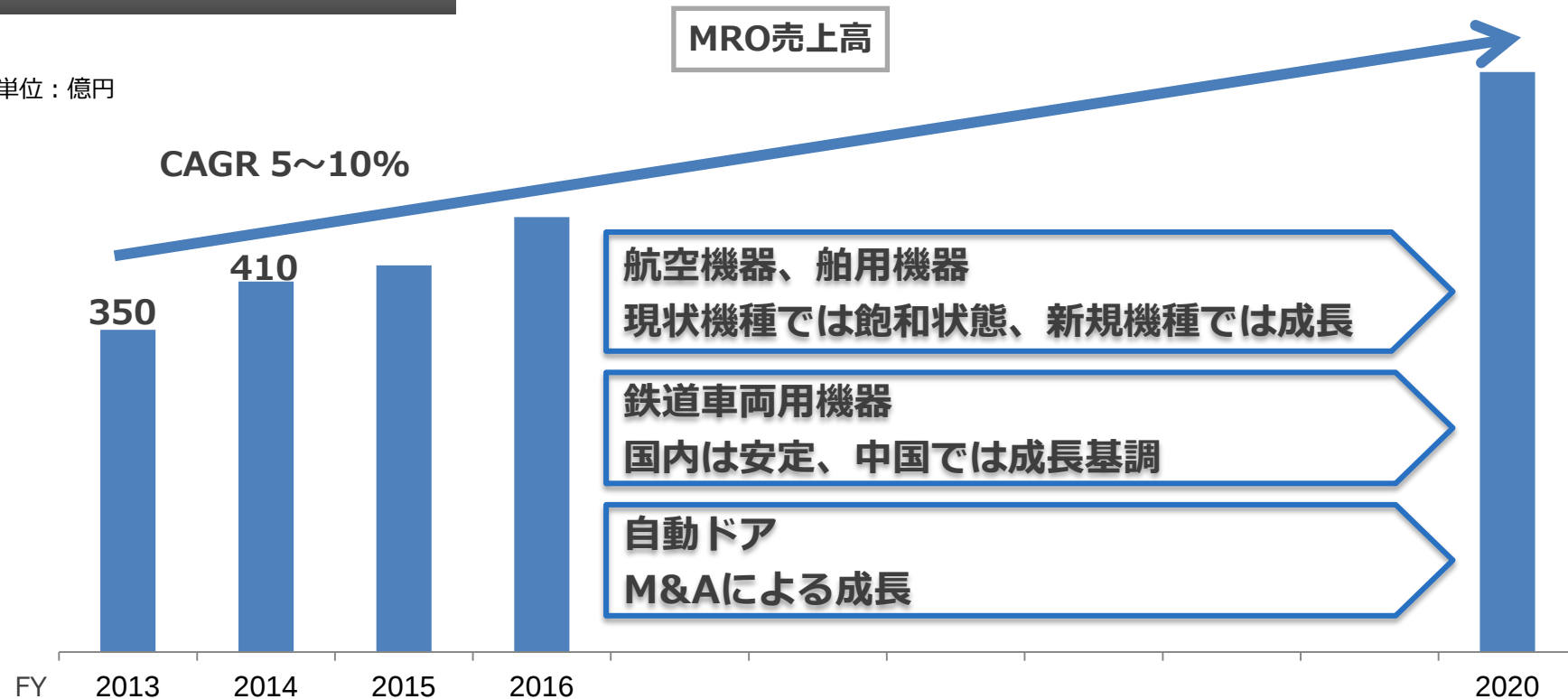
- 総額100億円の設備投資を実施
岐阜工場に新施設を設立（表面処理工場、EHSV*工場）
⇒ 生産性倍増、環境性能の向上により競争力強化

*EHSV: Electro Hydraulic Servovalve (電子油圧サーボバルブ)

3-2-4 成長の加速：MROビジネスの拡大

MROビジネスの拡大見通し

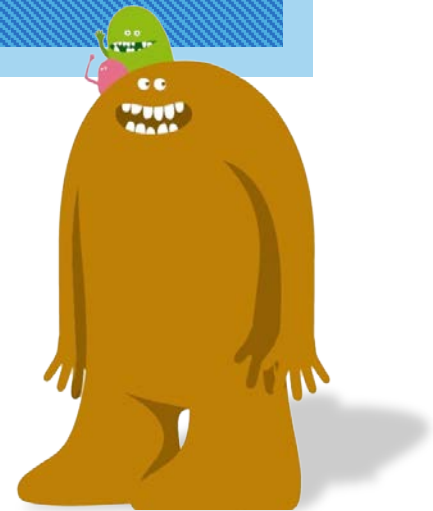
単位：億円



拡大に向けた取り組み

- 成熟市場においては効率向上
 - データ分析精度の改善による補足率の向上
- 新市場においてはネットワーク構築とプロアクティブな取り組み
 - 提案型営業の積極化による需要の取り込み

Appendix



決算期変更および計画値の表記について

■ 国内外での決算期ズレの解消、将来的なIFRS導入準備の一環として、決算期を変更

2015年12月期(短信ベース)

(国内9カ月、海外12カ月)

	2015年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および国内連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期		
海外連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期		

短信ベース連結業績期間

第1四半期

第2四半期

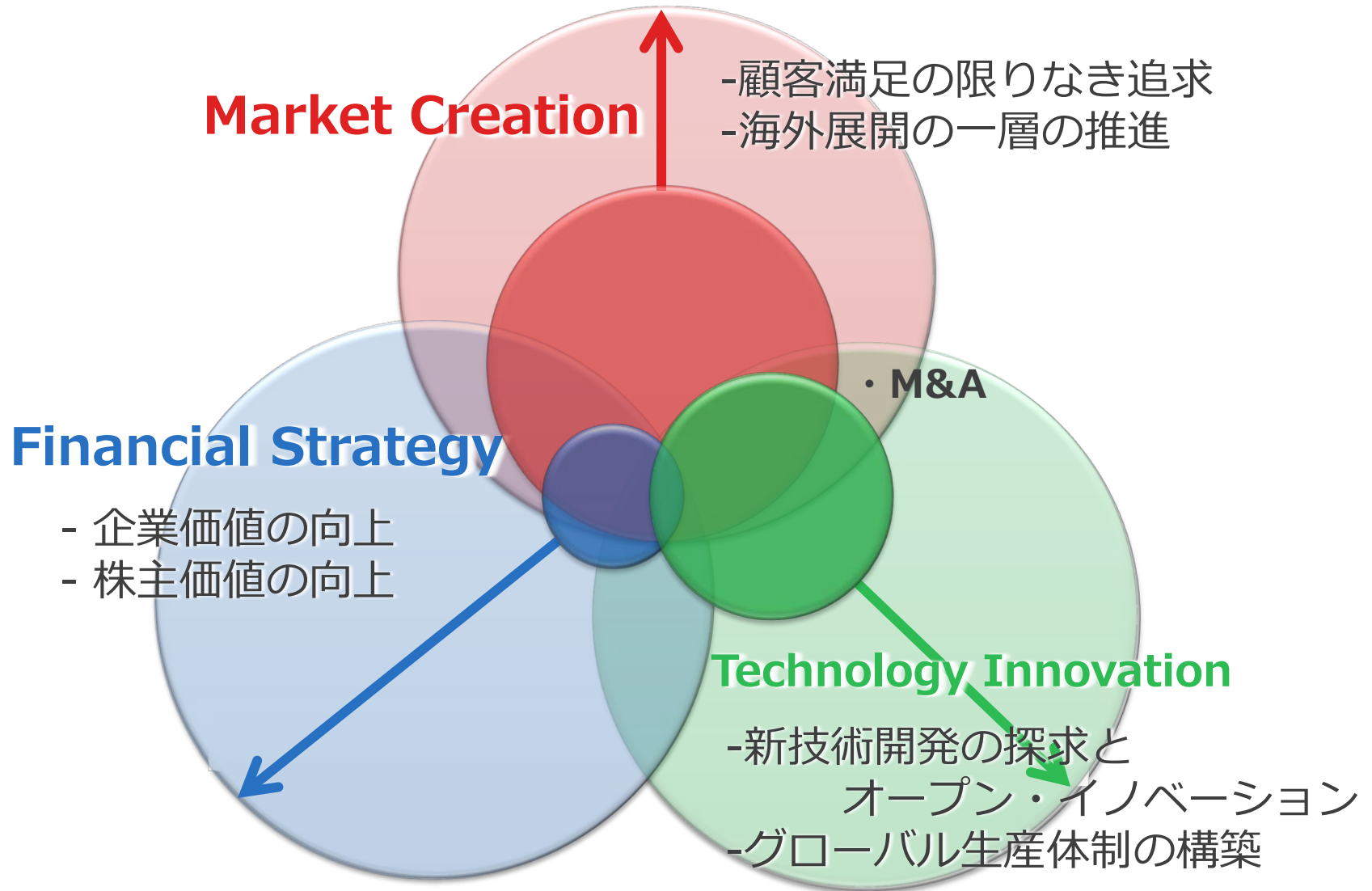
第3四半期

2015年12月期 (参考)

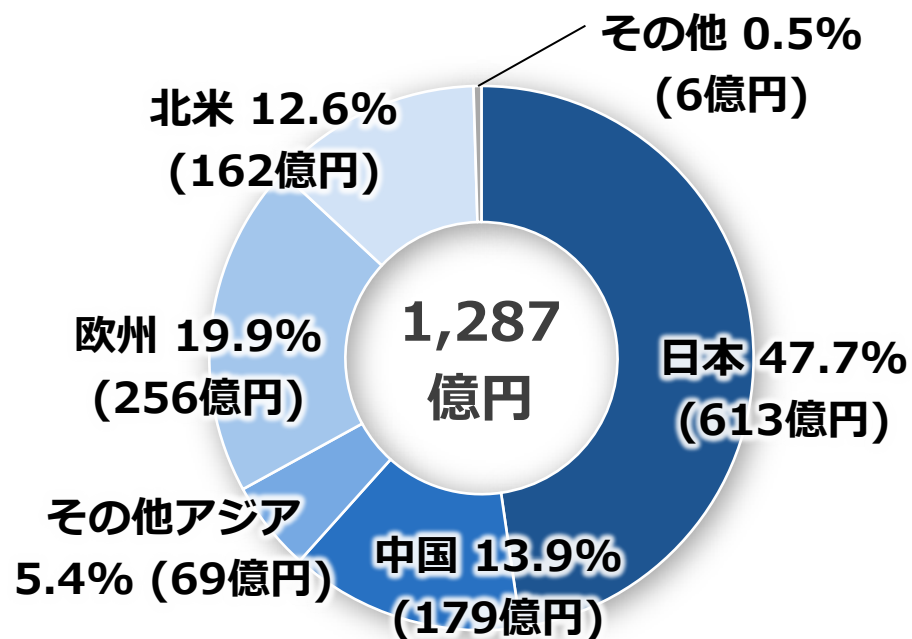
(12カ月間)

	2015年												2016年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当社および国内連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
海外連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

「2015年12月期 (参考)」として示す数値は、「2015年3月期業績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。



2015/12 第2四半期累計実績*



海外売上高	673億円
海外売上高比率	52.3%

*2015/12 第2四半期累計実績は、当社および国内連結子会社 6 カ月、海外連結子会社 9 カ月を連結対象期間としております。

設備投資額・研究開発費・減価償却費

(単位： 百万円)	2014/3 実績	2015/3 実績	2015/12 第2四半期 累計実績* 当社および国内連結子会社6カ月 海外連結子会社9カ月	2015/12 通期計画 (短信ベース)	2015/12 通期計画 (参考)**
設備投資額	6,760	6,918	5,033	14,000	18,000
研究開発費	6,401	6,876	3,905	6,500	8,000
減価償却費	7,600	6,258	4,351	6,700	8,200

Notes

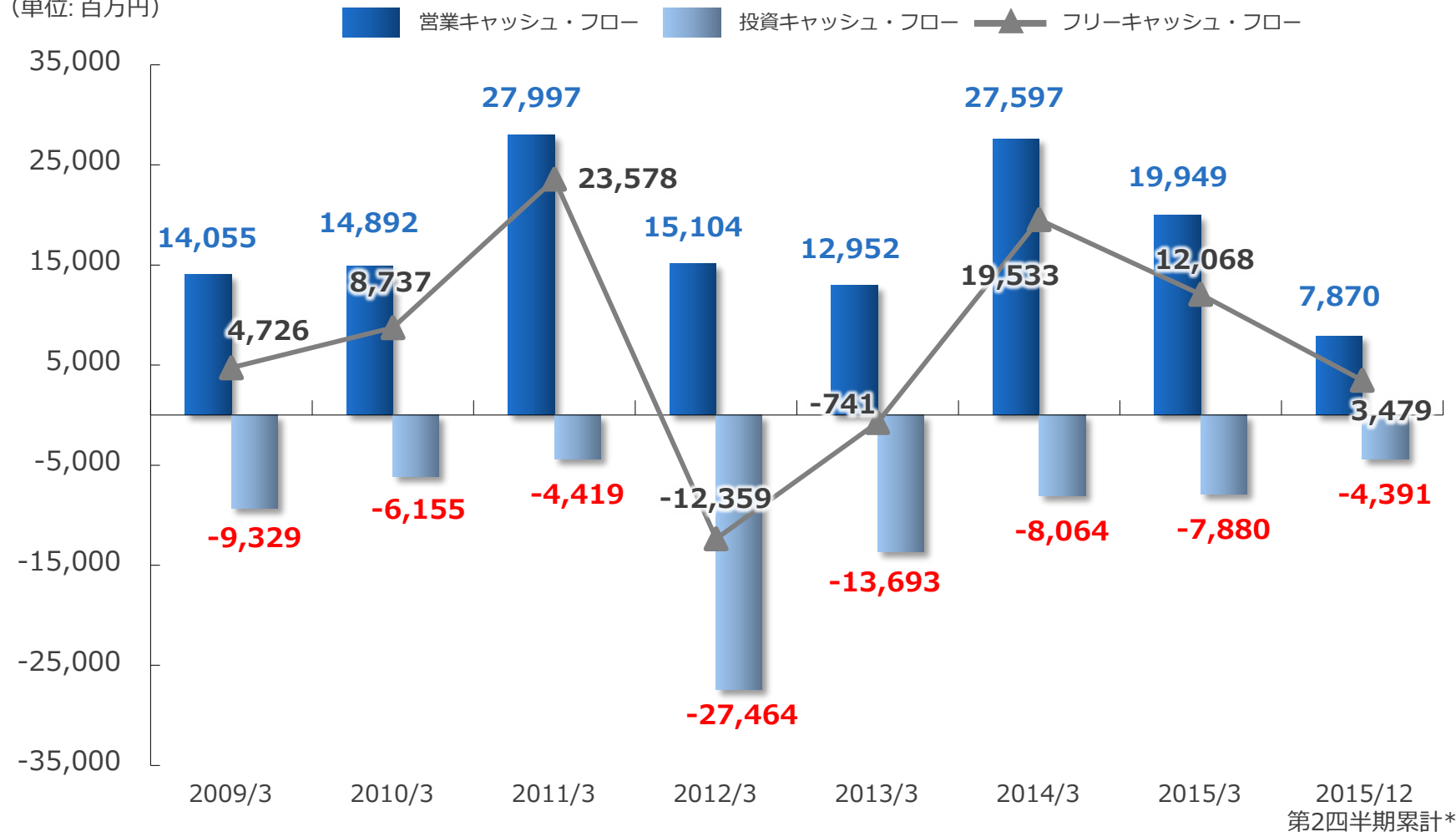
- 設備投資：15/12期計画は国内工場の近代化および精密減速機・航空機器での増産対応を予定
- 研究開発費：基盤技術の強化、新製品開発を積極化

*2015/12 第2四半期累計実績は、当社および国内連結子会社6カ月、海外連結子会社9カ月を連結対象期間としております。

**「2015年12月期（参考）」として示す数値は、「2015年3月期業績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

連結キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



*2015/12 第2四半期累計実績は、当社および国内連結子会社 6 カ月、海外連結子会社 9 カ月を連結対象期間としております。

BS概況

(単位：百万円)		2015/3期末 2015年3月31日現在	2015/12 第2四半期 2015年9月30日現在	差異
資	産	245,992	238,009	-7,982
(	現 預 金 等)	51,157	37,641	-13,514
(	売 上 債 権)	57,115	57,733	618
(	棚 卸 資 産)	25,165	29,788	4,623
(	有 形 固 定 資 産)	56,877	57,411	534
負	債	87,327	87,596	269
(	有 利 子 負 債)	16,659	15,391	-1,265
純	資 産	158,664	150,412	-8,251
(	新 株 予 約 権)	391	377	-13
(	少 数 株 主 持 分)	8,410	7,631	-779
自	己 資 本	149,862	142,404	-7,458

※ 自己資本比率：

60.9%

59.8%

	2015年3月期 実績	2015年12月期 計画 (短信ベース) 2015年10月策定	2017年3月期 中期計画最終年度
売上高	2,196億円	1,910億円	2,800億円±5%
営業利益	236億円	162億円	340億円
営業利益率	10.8%	8.5%	12.0%
当期純利益*	177億円	114億円	240億円
EPS	140.24円	91.59円	190円
ROA	7.4%	-	7.5%
ROE	12.6%	-	15.0%
配当額	44円	44円	-
配当性向	31.4%	-	30%以上

*当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

精密機器セグメント 主要製品

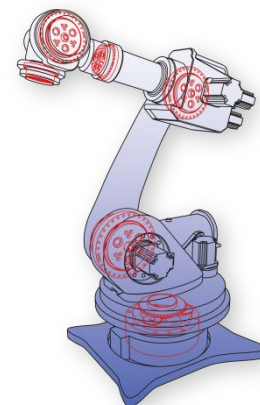
精密減速機

■産業用ロボットの関節用途



■工作機械 ATC駆動分野

(ATC = Automatic Tool Changer)

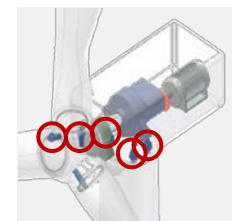


新エネルギー機器

■太陽追尾駆動装置



■風力発電用駆動装置



主要顧客 (敬称略)

■精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■新エネルギー事業

太陽追尾装置：Cobra Thermosolar Plant (スペイン)

風力発電機用駆動装置：三菱重工業、日立製作所、他

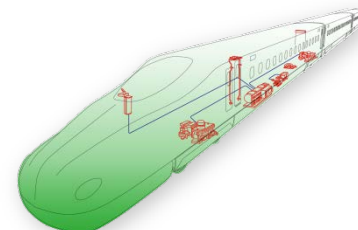
輸送用機器セグメント 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

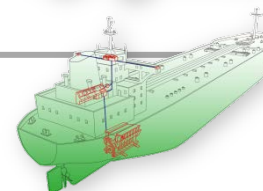


■ 商用車用エアドライヤー



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 商用車用機器

日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、いすゞ自動車、UDトラックス

■ 船用機器

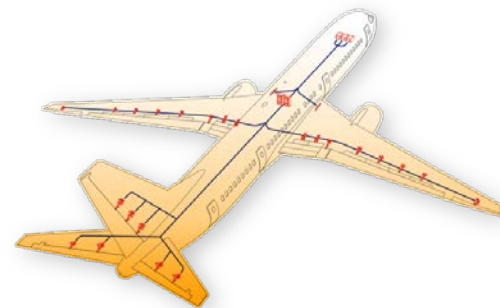
川崎重工業、三井造船、三菱重工業、日立造船

Hyundai Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

航空機器

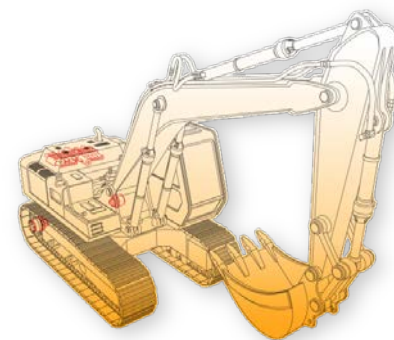
■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



油圧機器

■ パワーショベル用走行モーター



主要顧客 (敬称略)

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

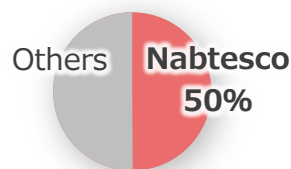
■ 油圧機器

走行モーター：コマツ、コベルコ建機、クボタ、住友建機、Sany、Zoomlion、Xugong Excavator、Liu Gong

産業用機器セグメント 主要製品

自動ドア

■自動ドア開閉装置



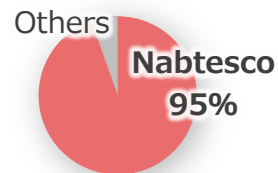
No.1

建物用自動ドア

国内シェア約**50%**
(世界トップクラス)



■プラットホームスクリーンドア



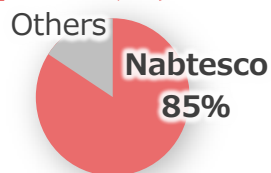
No.1

国内シェア約**95%**
(累計)



包装機

■レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約**85%**



主要顧客 (敬称略)

■自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

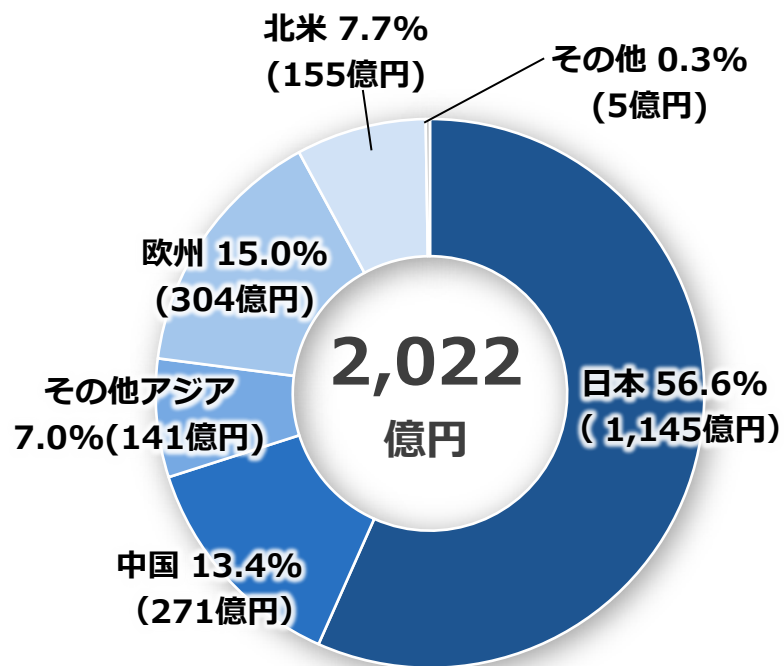
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

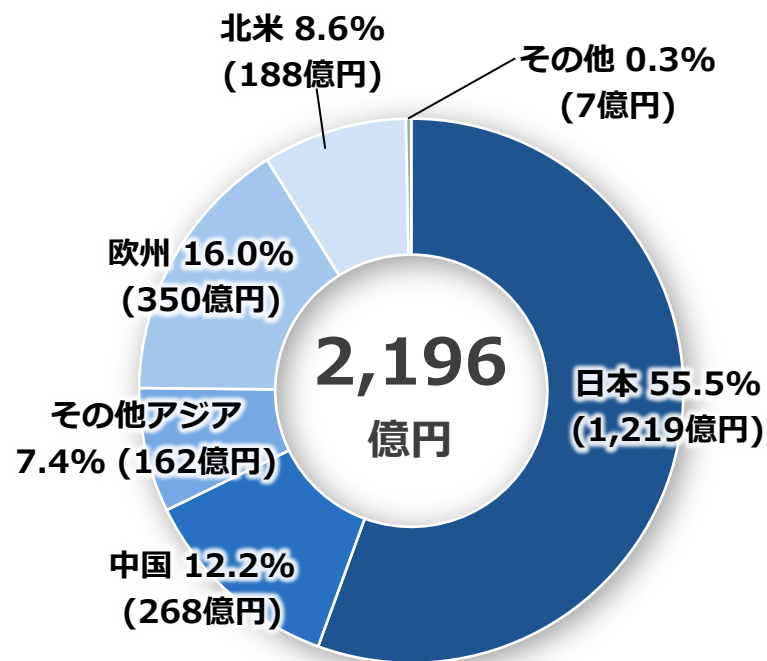
地域別売上高構成比

2014/3実績



海外売上高	877億円
海外売上高比率	43.4%

2015/3実績



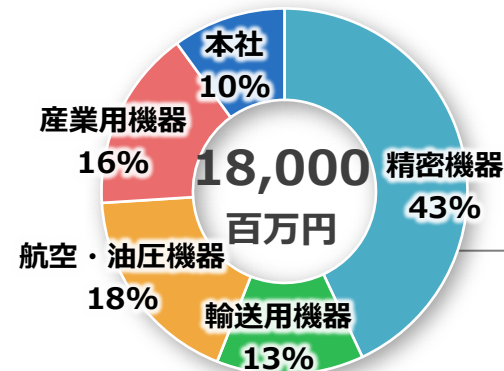
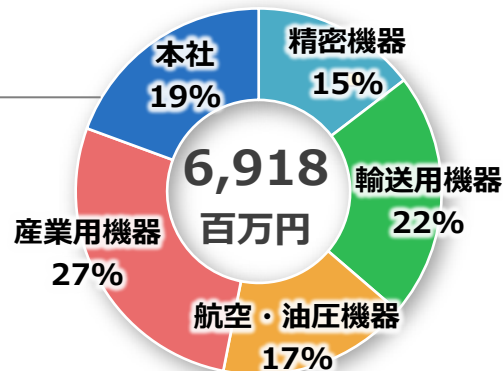
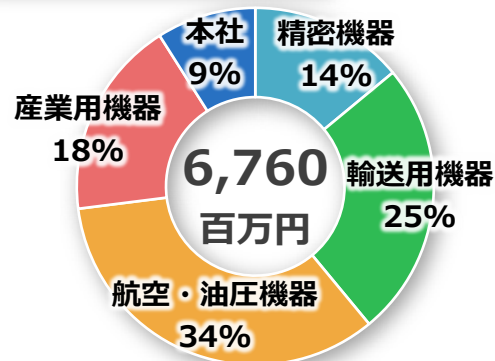
海外売上高	977億円
海外売上高比率	44.5%

Notes

- 精密減速機および自動ドアの欧州・北米向け売上の拡大、航空機器の北米向け売上増加
- 油圧機器の中国向け売上減少
- 上記の結果、海外売上高比率は44.5%に上昇

設備投資額内訳

セグメント別



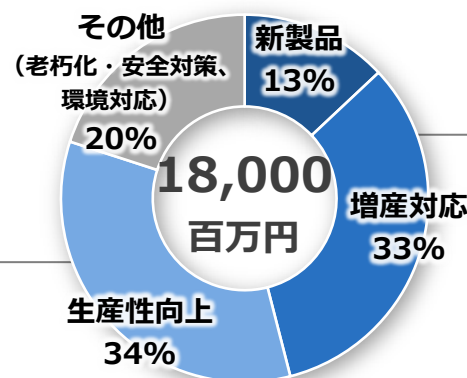
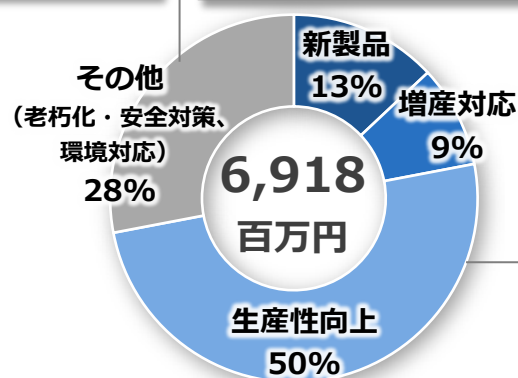
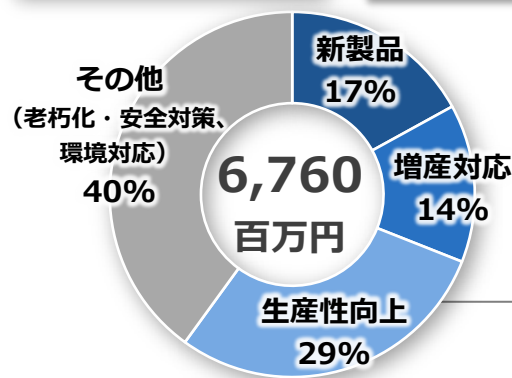
- 国内社宅更新
- ITインフラ整備

- 国内外各工場の設備更新を含めた近代化投資

- 国内外各工場の設備更新を含めた近代化投資

- 精密減速機
 - 中国新工場建設
 - 津工場増産対応
- 航空機器 岐阜工場設備増強

目的別



2014/3実績

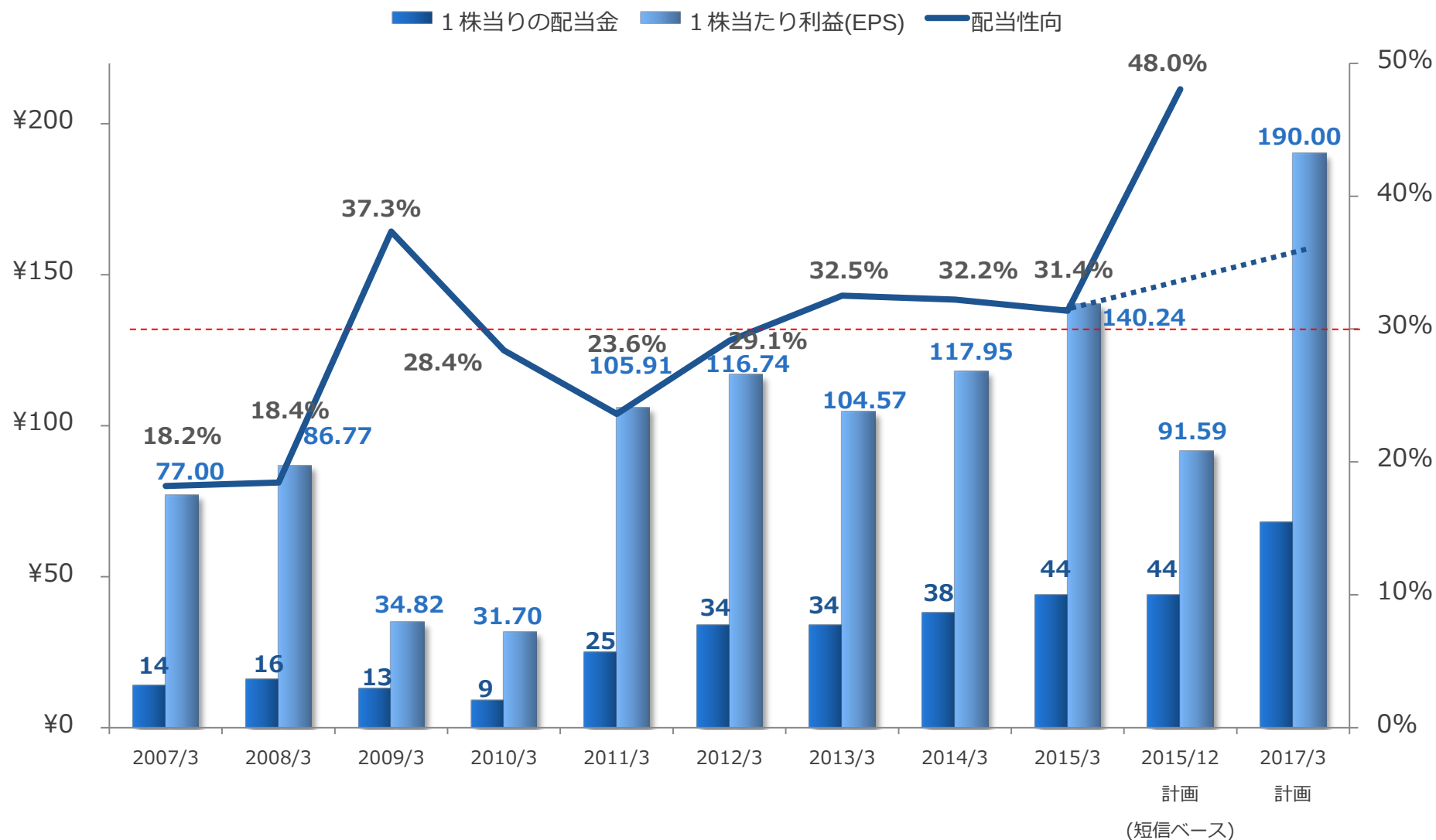
2015/3実績

2015/12計画 (参考)

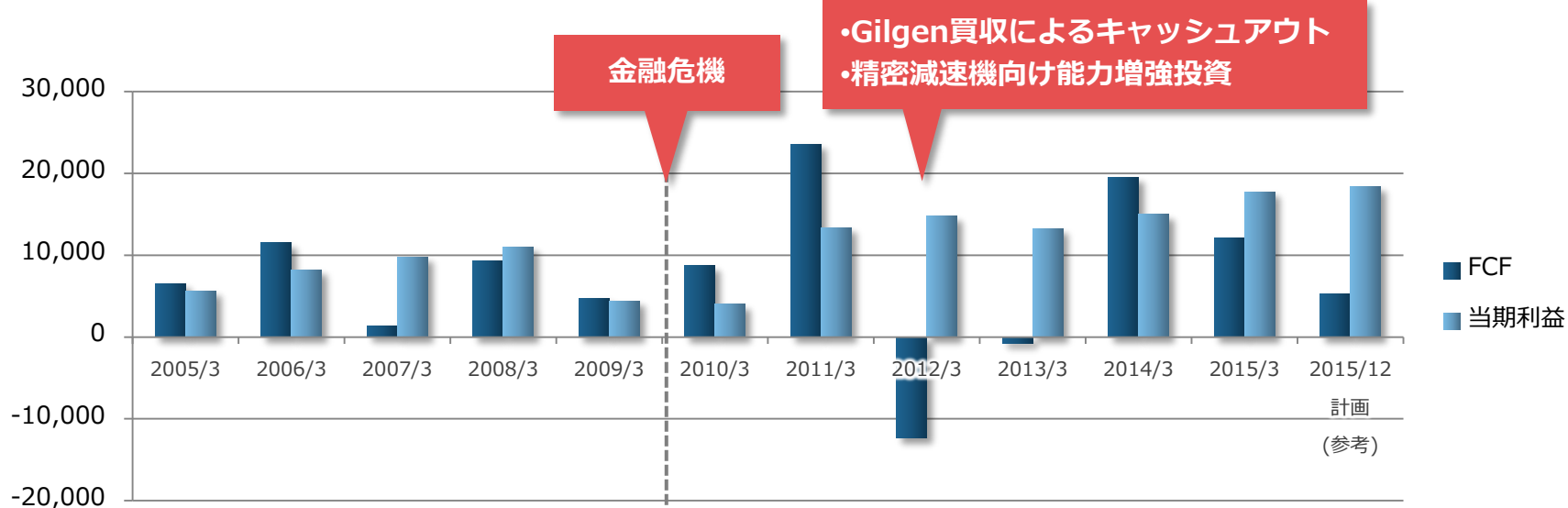
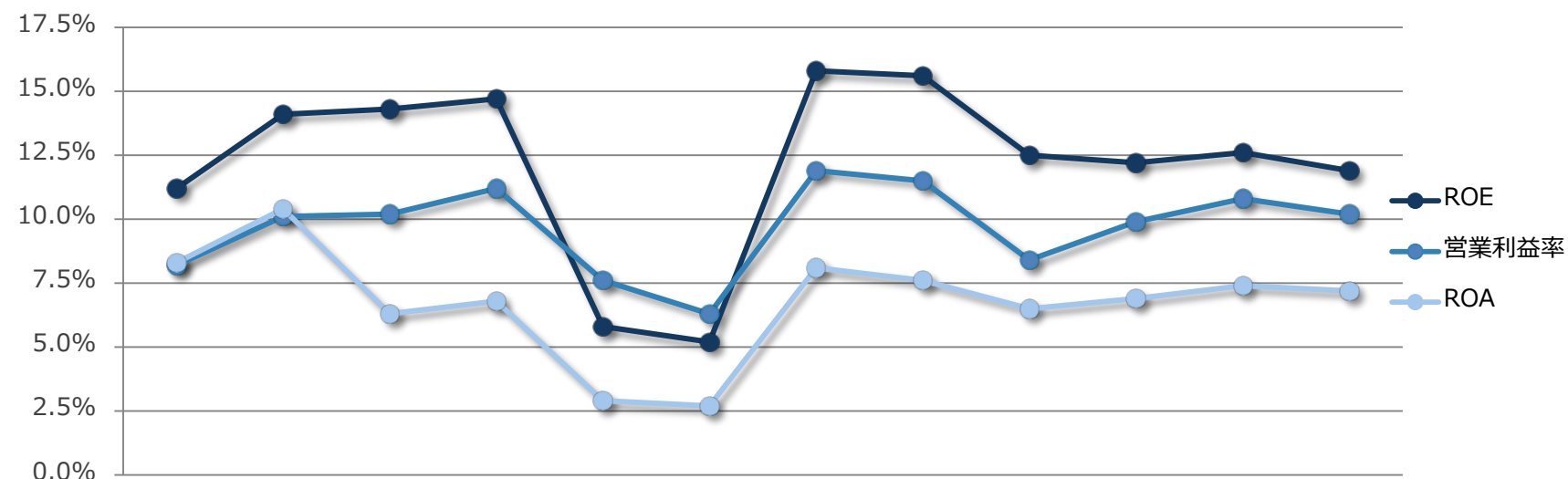
「2015年12月期計画 (参考)」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間 (12カ月間) に置き換えて算出した数値となります。

配当額・配当性向の推移

■ 安定配当を考慮しつつ、配当性向30%以上を維持

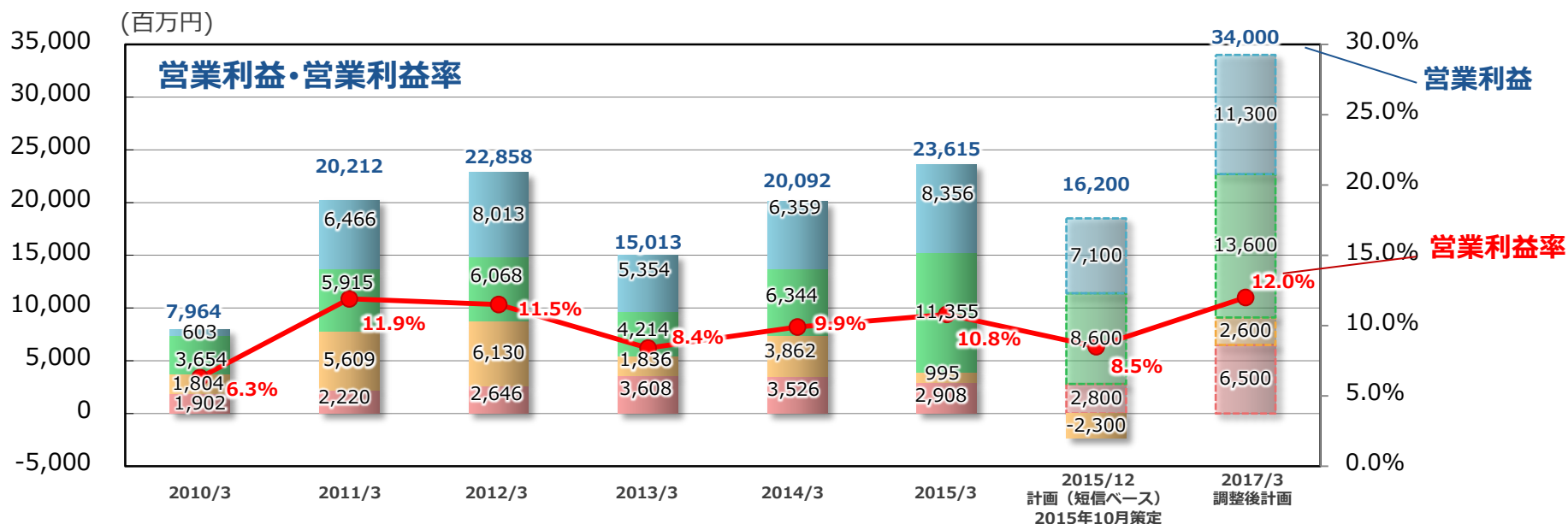
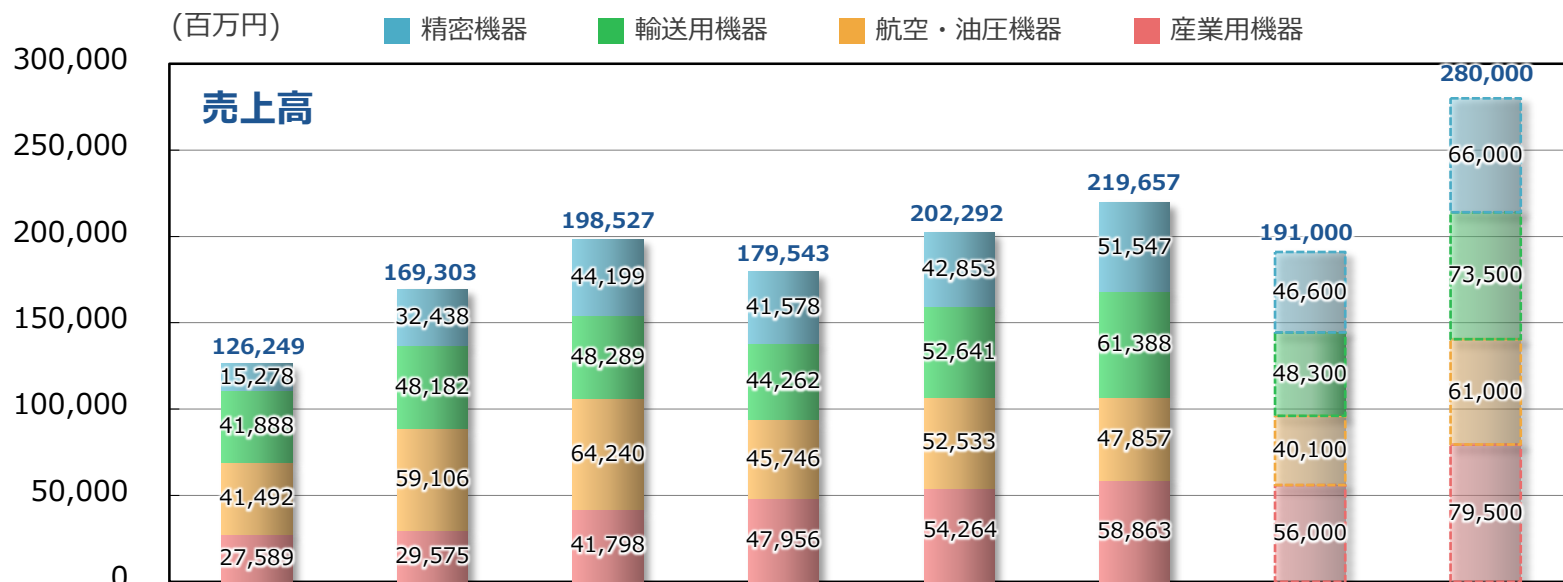


ROA/ROE推移

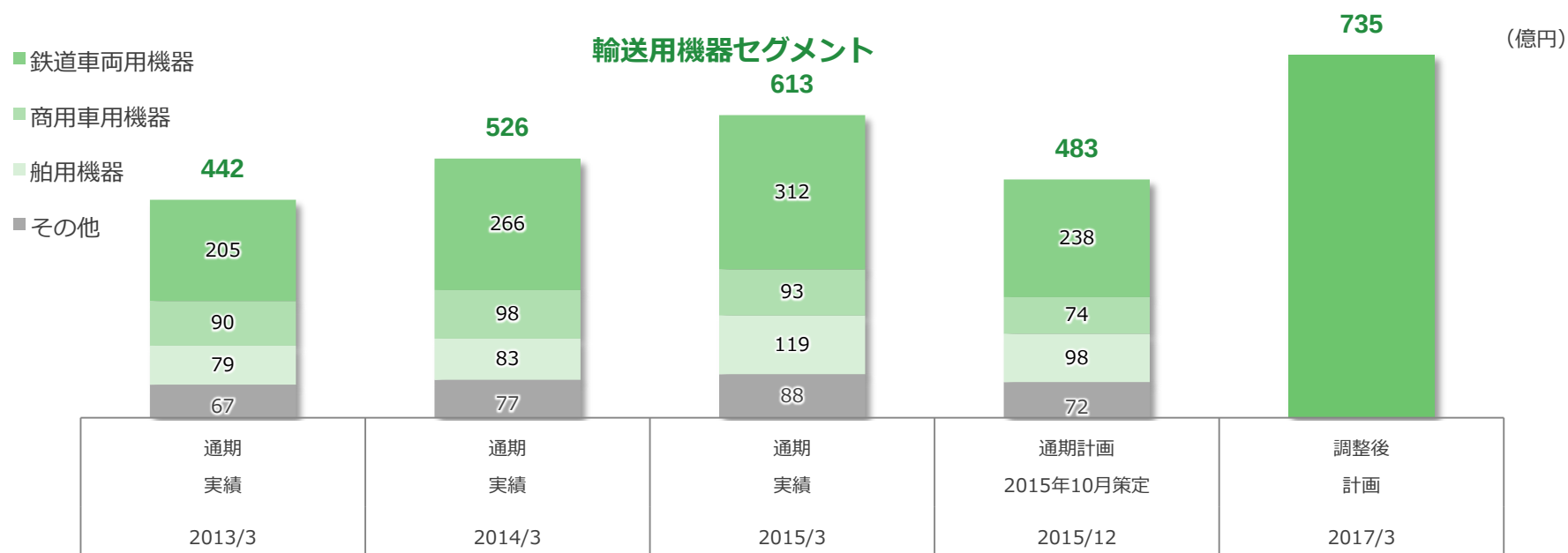
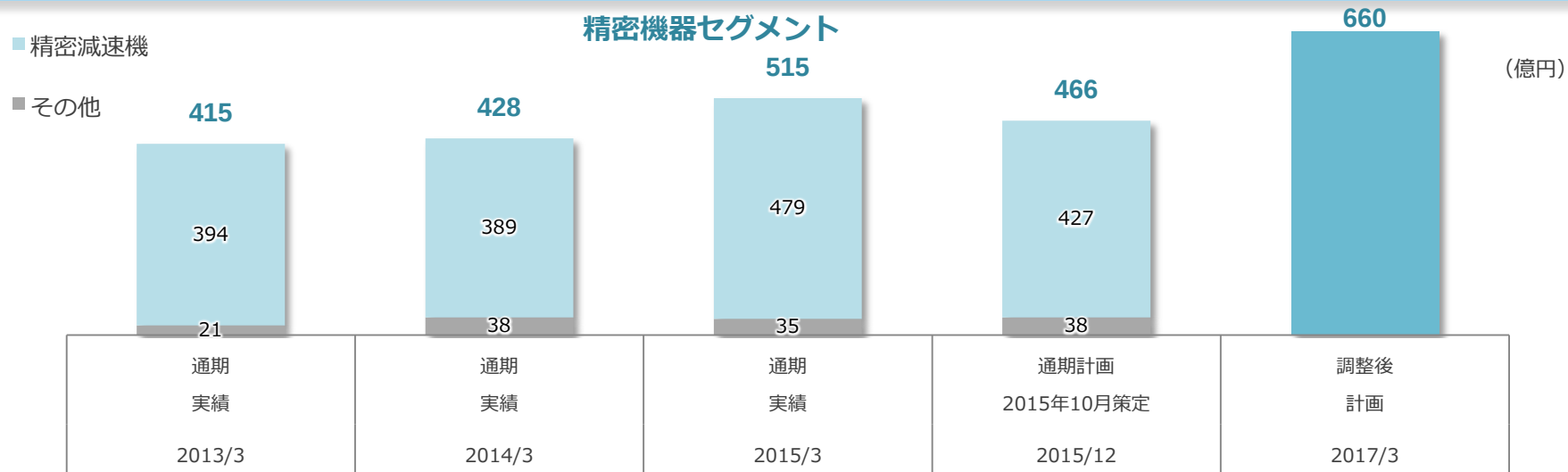


「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。
2015年5月時点

事業セグメント別 売上高・営業利益推移

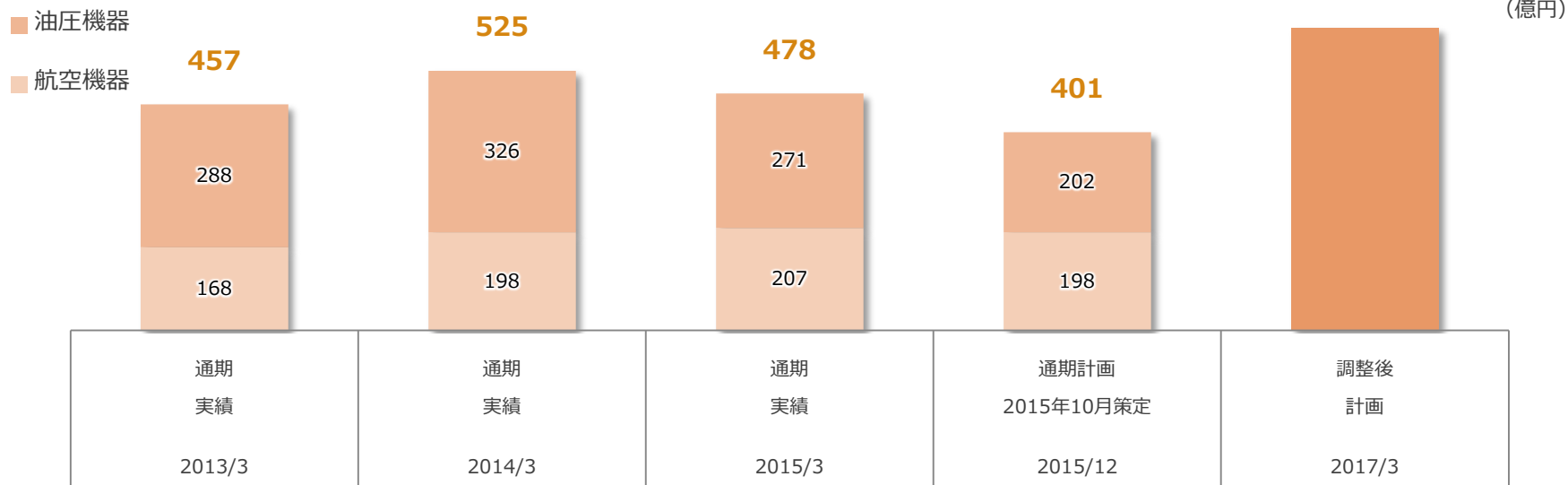


事業別 売上高推移

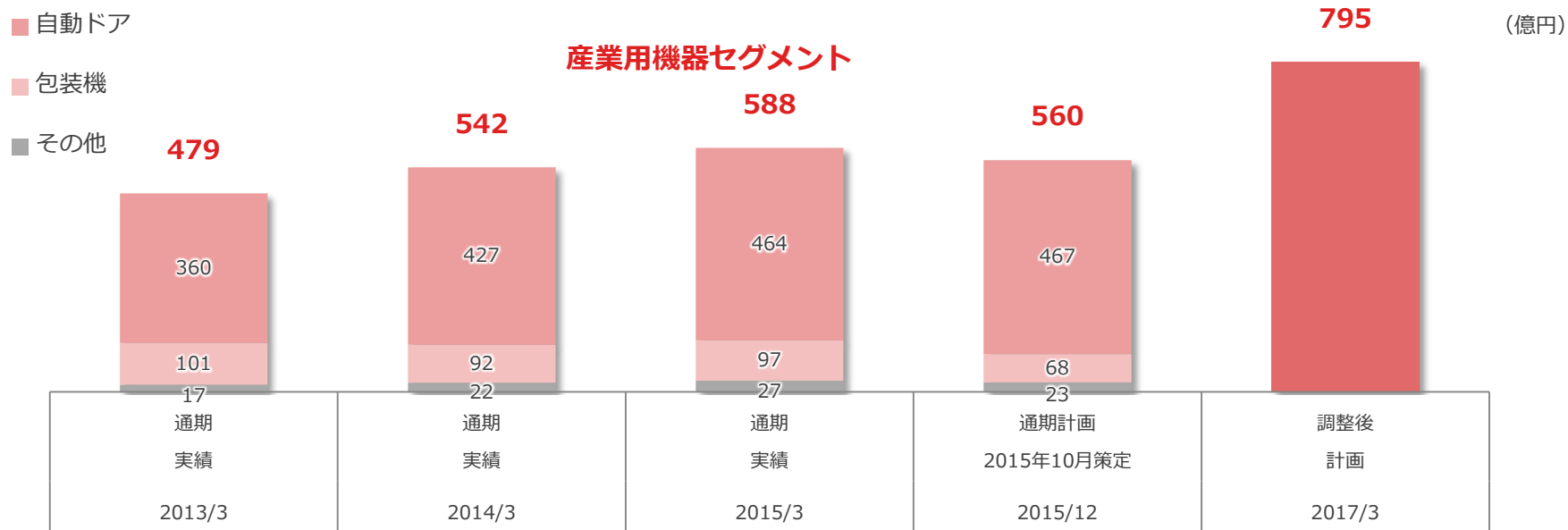


事業別 売上高推移

航空・油圧機器セグメント



産業用機器セグメント



うごかす、とめる。

Nabtesco

